

陳 情 文 書 表

令 3 陳 情 第 2 号	令 和 3 年 2 月 9 日 受 理
件 名	自然の保全と活用を前提にした矢坪沢整備と周辺事業計画を求める陳情書
陳 情 者	秦野市南矢名 3 - 6 - 2 8 新日本婦人の会秦野支部 代表 原 とし子
陳 情 の 要 旨	
<p>私ども、新日本婦人の会は女性と子どもの幸せ、平和と暮らし向上のため全国で運動している、国連NGOとして認証された女性団体です。</p> <p>SDGsにもうたわれているように自然環境を守る立場にもあります。その観点からも是非ご検討をお願いします。</p> <p>矢坪沢の防風林とその周辺に広がる農地や住宅は、市内でも失われつつある貴重な里山の原風景です。登山者や観光客が訪れる丹沢の表玄関に当たるこの地域の自然を損ねることは、水と緑の豊かな秦野、住みよいまちを創る上で大きな損失になります。多額の税金を使って矢坪沢を大規模に整備する緊急性は、水害被害の実態などからも見当たりません。農地や家を「丹沢おろし」から守り、準絶滅危惧種のオオタカの狩場でもある樹林帯はむしろ、市が率先して残すべきです。</p> <p>里山や森林の保全は、国連が進めるSDGs（持続可能な開発目標）の15「陸の豊かさを守ろう」や13「気候変動に具体的な対策を」にも関わる重要な課題です。環境保全やSDGsの推進が自治体、企業にも厳しく問われる時代にふさわしい事業計画の検討・具体化を望みます。</p> <p>北地区は保育園や幼稚園、小中学校のある文教地区でもあります。子どもたちの成長にふさわしい環境整備であることが欠かせません。秦野市の「総合計画基本構想」は市民憲章の理念のもと、貴重な自然環境の保全と活用、行政と市民が力を合わせて住みよいまちづくりを進めることをうたっています。里山の自然と恵みを生かした魅力あるまちづくりを市民参加で進め、観光や都会からの移住の促進など持続可能な秦野市を実現したく、下記について陳情いたします。</p>	

陳情事項

- 1 秦野市戸川土地区画整理事業及び矢坪沢水路整備計画は多額の市税を投入しているため、これらの事業計画についての市民説明会を開催すること
- 2 矢坪沢水路整備計画において、樹木を伐採するコンクリート整備ではなく、巨木並木を伐採せず豊かな環境を生かした自然公園づくりを進めること
- 3 産業利用促進ゾーンの活用については、市民の意見を反映した事業計画にすること